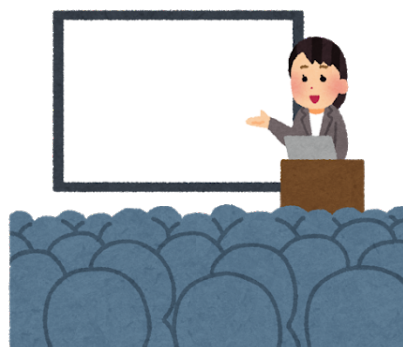


2019

8/30 金

高知県立精神保健福祉センター

高知市丸の内 2-4-1
高知県保健衛生総合庁舎


アルコール健康障害対策基本法が策定され、IR 推進法が可決されて以来、にわかに「依存症予防教育」の必要性を求める声が高まって参りました。しかしながら教育現場や地域活動を主導される、教師、養護教諭、スクールカウンセラー、PTA、地域団体等の皆様の中に依存症についての正しい知識が普及しているとは言えない現状があります。

そこで、依存症予防教育で何をどんな風に伝えればよいのか？具体的なノウハウについてお伝えする「モデル授業」を開催いたします。教育現場や地域活動に携わる皆様方、ぜひご参加ください。

「ダメ、絶対」だけではない 依存症予防教室モデル授業

in 高知

	12:00	受付開始
	12:30	開演（資料説明等）
1	12:40 - 1:30	ギャンブル行動依存の予防教育について 講師：田中紀子
2	1:30 - 2:20	ネット・ゲーム依存の予防教育について 講師：白坂知彦
		休憩
3	2:35 - 3:25	アルコール健康障害予防教育について 講師：今成知美
4	3:25 - 3:55	体験談 講師：高知東生
5	3:55 - 4:45	薬物依存症予防教育について 講師：松本俊彦
	4:45 - 5:00	総括・質疑応答 終了（アンケート回収）

参加費
無料

定員
180 名

お問い合わせ
公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会
TEL: 03-3555-1725 メール: info@scga.jp

お申し込み
講師紹介

協力 高知県立精神保健福祉センター
後援 高知県・高知市・高知県教育委員会・高知市教育委員会・
高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・
KSSさんテレビ・NHK高知放送局・NPO法人AKKこうち

「ダメ、絶対」 だけではない依存症予防教室モデル授業 in 高知

FAX お申し込み：03-6222-8128

受付 8/28(水)迄



ご氏名	■複数名でお申し込みの際は、恐れ入りますが全員のご氏名をご記入ください	
ご所属等	■複数名でお申し込みの際は、代表者様のご所属をご記入ください ☐ 行政 ☐ 教育 ☐ 医療 ☐ 福祉 ☐ 当事者・家族 ☐ 回復施設 ☐ アディクション関係団体 ☐ 酒類関係 ☐ 学生 ☐ 報道 ☐ 一般 ☐ その他（ ）	■ご所属等の所在地 都 道 府 県 _____ 市 区 町 村
ご連絡先	■メールアドレスまたは電話番号 ※定員超過した場合のみご連絡いたします	

※本申込書に記載された個人情報は、本講座の参加者の把握及び緊急連絡のみを目的として使用し、厳重に取り扱うものとします。
お申し込み後の受付票等は送付しておりません。当日、直接会場へお越しください。

PC・スマートフォン お申し込み

受付 8/28(水)迄



下記 URL または QR コードからお申し込みフォームへアクセスできます。

<https://forms.gle/CJ17wtU4Bzpp1qsRA>



講師紹介（敬称略・50 音順）



◆今成知美

NPO 法人 ASK
（アルコール薬物問題全国市民協会）
代表。アルコール健

康障害の予防教育の草分け的存在。大学向けのイッキ飲み防止活動、飲酒運転防止インストラクター養成講座等を行っている。超党派議員立法によるアルコール健康障害対策基本法の制定に奔走。同法施行後、内閣府のアルコール健康障害対策関係者会議委員として、アルコール健康障害対策推進基本計画の策定に関わる。



◆白坂知彦

手稲溪仁会病院
精神保健科部長。
一般診療の傍ら、
札幌市・北海道

の教育委員会・養護教諭会・スクールカウンセラー会などと協同し、インターネット過剰使用と引きこもり、不登校などの相談や勉強会等を企画。スクールカウンセラーを介しネット依存に悩む学生、保護者に対する診察や、直接高校に赴いて学習会を行う等、地道な啓発活動を行っている。



◆高知東生

高知県出身。
明德義塾中学・高
校卒業。高校在
学中は野球部に所

属。1993 年芸能界デビュー。デビュー以来、映画、ドラマ、バラエティに多数出演。
2016 年 6 月 24 日覚せい剤取締法違反の容疑で逮捕。
現在、薬物依存の専門病院や自助グループに繋がり回復を続けながら、依存症問題の啓発に取り組んでいる。



◆田中紀子

公益社団法人ギャン
ブル依存症問題を
考える会代表。
祖父、父、夫がギャン

ブル依存症者という三代目ギャンブラーの妻であり自身もギャンブル依存症と買い物依存症から回復した経験を持つ。2018 年 12 月にはバチカン市国で開催された依存症問題の国際会議に出席し、我が国のギャンブル依存症対策等の現状について報告をした。



◆松本俊彦

国立精神・神経医
療研究センター精
神保健研究所薬物
依存研究部部長。

精神科医。薬物依存症や自傷行為に苦しむ患者と向き合い、診療や研究に取り組んでいる。講演会では、難しい内容を理解しやすく、ウィットに富んだ話しぶりで人気を博している。2006 年 2 月 第 2 回精神科治療学優秀論文賞、2011 年 12 月第 17 回犯罪学術奨励賞受賞。

お問い合わせ

公益社団法人
ギャンブル依存症問題を
考える会

03-3555-1725

info@scga.jp